

高等部 3年 職業科Ⅱグループ 学習指導案

日時：令和3年10月28日（木）
10時40分～12時20分

場所：図書室

指導者：塚本 竹美（T1）

佐藤 由生（T2）

佐藤 聖哉（T3）

1 単元名 働く力を高めよう②～後輩に伝える3年生特別授業～

2 生徒と単元

(1) 生徒について

本学習グループは、男子3名、女子5名の計8名である。卒業後、就労支援B型事業所の利用予定者が7名、生活介護サービス利用予定者が1名である。6月の現場実習を経験し、自分の卒業後の進路や生活の見通しをもち始めている。明るく積極的に活発に意見を出し合える生徒が多く、これまで交流や報告会などの発表する活動で意欲的に取り組んできた。伝える相手のことを考えた話し方やジェスチャー、表情を工夫して伝える活動を通して充実感・達成感を得てきたことで、自信につながっている。

一方、学んだことを忘れてしまったり、自分のこととして捉えられなかったりする生徒が多い。一部の生徒は、不安なことがあると目の前の活動に取り組めなくなったり、自分のことを優先して周囲のことを考える余裕がなくなってしまう。また、1名の生徒は集団に参加することが難しいが、安心できる環境や仲間の協力によって、学習場所で授業に参加し、みんなと一緒に活動をするが増えてきている。

(2) 単元について

1学期は、社会人として必要な力について学び、卒業生から働くことや職場での人間関係についてアドバイスもらった。これまでの学習で学んだことや先輩からのアドバイスから、自信をもって実習に向かうことができた。現場実習で起こったことについてどう対処するか話し合う中で、生徒が進行してお互いの意見を伝え合い、様々な考え方や方法があると分かってきた。

本単元は、3年間の学びを振り返って成果や課題をまとめ、後輩に実習で学んだことを自分の経験を踏まえて伝えたり、質問に答えたりするやりとりを通じた授業実践をしていきたい。後輩に伝えることや友達とのやりとりをすることで、働くために必要な力について学び直し、自分の課題を再確認する機会となると考える。また、学んだ内容を活用し、学び合える授業を進めるために、ファイルを見直すことやお互いの良さを認め伝え合うこと、後輩に伝える学習を通して学び合える授業を設定する。これらを通して、高等部3年間の職業科の学びの集大成として他の学習場面や生活場面でより自分事として課題を捉えられると考え、本単元を設定した。さらには、この単元で学んだことを社会人になったときに活用することで、生きる力につながると考える。

(3) 指導に当たって

目標を達成するために以下の手立てに留意し、指導に当たる。

- ・見通しをもって取り組めるように、3つのSTやグループによる話し合い活動など繰り返しの学習を設定する。
 - ①導入では学んだことを思い出し、活用できるように、授業の始めにファイルから学びの履歴を探して発表する機会を設定する。（始めのSTタイム：職業トレーニングタイム）
 - ②相手のことを肯定的に捉え、自己肯定感が高まるように、友達のいいところを伝え合う場面を授業の最後に毎回設定する。（終わりのSTワード：素敵などころを伝える言葉）
 - ③社会人として働くために必要な力について、後輩に伝えることで自分自身のこととして捉え、汎化できるようにする。（ST授業：3年生特別授業）
- ・話し合い活動では、考えをまとめたり、話の方向を軌道修正したりできるようにグループに教師が入る。
- ・1年生と2年生職業Ⅱグループの担当教師と情報を共有し、お互いに必然性のあるST授業の内容や個々の実態に合った伝え方に配慮する。

3 目標

- (1) 職業で学んだことをまとめ、後輩に伝えることを通して自分の課題との向き合い方が分かる。
【知識及び技能】
A職業生活 イ職業 (ア) ㊦
- (2) 友達や後輩と伝え合うことで、違った視点に気付き、自分の課題を考え直す。
【思考力、判断力、表現力等】
A職業生活 イ職業 (イ) ㊦
- (3) S T授業を友達とやり遂げることによって、お互いの良さを認め合おうとする気持ちをもつ。
【学びに向かう力、人間性等】

4 目標に対する評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①職業で学んだことをまとめ、活用している。 (技) ②自分の課題との向き合い方が分かっている。 (知)	①周囲の人に自分の考えや思いを伝えている。(表) ②自分の課題を違う視点で捉え、考え直している。 (思・判)	①S T授業を友達とやり遂げようとしている。 ②学び合いの中でお互いの良さを認め合おうとしている。

5 指導計画 (総時数27 本時 24・25/27時間)

時数	めあて・学習活動	評価の観点			評価規準 【評価方法】
		知	思	主	
1・2	どのような2週間チャレンジが自分に合っているか ・S T (職業トレーニング) タイムについて知る。 ・チェックシートで現在の働く力を自己評価する。 ・実習評価面談を通して、成果と課題を振り返り、今後チャレンジすることを決めて発表する。	②	①		・S Tタイムでファイルの活用し、学んだことを思い出して発表している。 ・自分のアピールポイントや足りないところが分かっている。 ・実習評価面談から、自分に必要な働く力についてキーワードを見付け今後チャレンジすべきことが分かっている。 【チェックシート、発表】
3	自分のアピールポイント・課題は何だろう ・実習先や仕事内容、成果課題をまとめる。 ・学びの履歴をどう活用するか考える。	①	①		・実習先や仕事内容、成果課題など必要な情報をファイルから探し、まとめている。 ・学びの履歴をどう活用したらいいか考えて伝えている。 【振り返りシート、チェックリスト】
4	1、2年生へ伝えたいことは何だろう ・S T授業で取り上げたいことや1、2年生のニーズを考えてアンケートを作成する。 ・S T (素敵なところを伝える) ワードについて知る。	②	①		・自分が伝えたい働く力について、自分の課題と関連付けられている。 ・S T授業で伝えたいことを考えている。 【ワークシート、発言】
5 7	伝えたい実習でのエピソードは何だろう ・発表者が伝えたいエピソードの対処方法について意見を出し合う。		①		・エピソードの対処方法について、自分の経験や意見を伝えている。 【発言、ワークシート】
8 ・ 9	友達と相談して2年生ⅡグループへのS T授業の準備をしよう ・自分の役割を理解して、友達とやりとりをしながらS T授業の準備をする。		②	①	・エピソードの対処方法について、友達の意見を聞いて、自分以外の対処方法を発表に取り入れている。 ・友達と仕事を分担し、協力して準備を進めている。 【発表原稿・発言】

10 ・ 11	S T 授業の流れをつかもう ・自分の役割を理解して、友達と協力して S T 授業のリハーサルをする。		①	②	・リハーサルを通して友達にアドバイスをしたり、アドバイスを受け入れたりしている。 ・自分のやることを理解して、友達や教師に確認しながら、自分から動いている。 【発表・ワークシート】
12 ・ 13	自分の役割を果たして S T 授業をする ・自分の学んだことをもとに、働く上で大切なことを後輩に伝える。 ・2 年生 II グループの生徒からの質問に自分の経験や意見を入れて答える。		①	①	・これまでの経験を踏まえて、働く上で大切なことを自分の言葉で伝えている。 ・自分の役割を理解し、友達と協力して 2 年生 II グループの生徒に伝えようとしている。 【発表、発言、ワークシート】
14 ・ 15	2 年生に S T 授業は伝わったのだろうか ・S T 授業のビデオや 2 年生の表情、発言から、良かったところや改善点を話し合う。		①	②	・良かったことや改善点の理由を考え、伝えている。 ・お互いの良さや意見を認めて、次の S T 授業に意欲をもっている。 【発言、振り返りシート】
16 ・ 17	1 年生が聞きたい S T 授業の内容は何だろう ・アンケートをもとに 1 年生に伝えたい内容を話し合う。 ・伝えたい内容に自分のエピソードや意見を入れて考える。	①	①		・実習日誌から 1 年生の頃、不安だったことや課題として挙げられたことを手掛かりに、アンケートと関連付けている。 ・1 年生に対してのどのようなエピソードがいいか考えて伝えている。 【発表、発言、ワークシート】
18 22	S T 授業の良かったところ・改善点を生かして準備をしよう ・自分の役割を理解して、友達とやりとりをしながら S T 授業の準備をする。		②	①	・エピソードの対処方法について、友達の意見を聞いて、自分以外の対処方法を発表に取り入れている。 ・自分の役割を理解して、友達や教師に確認しながら、自分から動いている。 【発表・ワークシート】
23	S T 授業の流れをつかもう ・自分の役割を理解して、友達と協力して S T 授業のリハーサルをする。		①		・リハーサルを通して友達にアドバイスをしたり、アドバイスを受け入れたりしている。 【発表、発言、ワークシート】
24 25 (本時)	1 年生にどんなエピソードを入れて伝えるか。 ・前回の S T 授業の成果や改善点を生かして、自分の学んだことを 1 年生の後輩に伝える。 ・1 年生からの質問に自分の経験や意見を入れて答える。		①	①	・これまでの経験を踏まえて、働く上で大切なことを自分の言葉で伝えている。 ・自分の役割を理解し、友達と協力して 1 年生に伝えようとしている。 【発表、話し合い、発言】
26 ・ 27	S T 授業で学んだことは何だろう ・S T 授業の成果や課題を踏まえて、学んだことをどう生かしていくかを話し合う。 職業で学んだことは何だろう ・3 年間の職業で学んだことをまとめ、自分の良さを生かしながら課題解決に向けて実践していく意欲をもつ。	②	②	②	・友達の意見を受け入れて、自分の課題を再確認している。 ・自分の良さを生かして課題解決に向けて何を実践していけばいいかわかっている。 ・職業で学んだことを通して、お互いの良さを認め合おうとしている。 【発表、ワークシート】

6 本時の計画

(1) 全体の目標

- ・ 1年生が実習に安心して向かえるように考えて、自分の経験や意見を入れて質問に答える。

【思考力・判断力・表現力】

- ・ 学び合いの中で、お互いの良さを認め合う気持ちをもつ。

【学びに向かう力、人間性等】

(2) 個々の目標

生徒・性別	実態	単元における目標	本時の目標
A	教師の発問に対して、時折見当違いの発言をしてしまうことがある。自信のなさから発言を躊躇するときがあるが、グループ活動では、良い意見を出すことが多い。	・ 働くために必要な力について後輩に伝えることで、自分の課題解決への意欲を高める。	・ これまでの学習を思い出し、後輩からの質問に対し自分の考えを伝える。
B	見通しがもてる活動では、積極的に自分の意見を発表する。文章が長く、要点をまとめることが難しい。学習したことを生活に生かそうと努力している。	・ 友達や後輩とのやりとりを通じて、自分の良さを生かした社会人として必要な実践力高める。	・ 後輩に伝わるように、分かりやすい言葉で自分の経験を話す。
C	机に伏せることもあるが、教室で授業に参加できるようになってきた。人前での発表などは苦手で画用紙などに書いた物を提示する。	・ S T 授業で伝える内容を、友達の話聞いてうなずいて答えたり、選択肢から選んだりして意思を伝える。	・ 友達や後輩の問い掛けに身振りで答えたり、ボードの中の選択肢を指差して示したりする。
D	不安なときには、教師への確認が多くなる。授業中に居眠りをするところがあるが、理解力は高い。自己評価が高くなりがちだが、実習を終えて課題を受け入れるようになった。	・ 友達や後輩とのやり取りから、働くために必要な力について理解を深め、自分の課題解決に向けて意欲を高める。	・ これからの自分の課題を考えて、失敗談を含めた自分の経験を後輩に伝える。
E	学んだことを後輩に伝えようとする気持ちが強く、意欲的に活動している。向上心があり、自分の頑張りを認めてもらいたい気持ちが大きい。	・ 働くために必要な力を理解し、学んだことを他の場面でも生かそうとする。	・ 実習で経験したことを後輩に分かりやすく伝える。
F	教師の評価を気にする傾向があるが、友達の良い意見を認めて褒めたり、積極的に意見を述べたりできる。	・ 仕事や生活に必要なこと、失敗しがちなことを他者に伝えることで、自己有用感をもつ。	・ 後輩からの質問に自分の経験したことや友達の経験したことを伝える。
G	発問の意味を理解していないことが多いが、教師に確認することで自分から取り組もうとする。	・ 自分が取り組む課題を明確にして、解決のために意欲を高める。	・ できるだけ自分で問い掛けに答えつつ、難しい場合は友達に補足を依頼する。
H	自分から人に話し掛けることは少ないが、友達や教師の問い掛けに対しては、うなずきや短い言葉で自分の気持ちを伝えている。	・ 友達や後輩とのやり取りから、自分の課題との向き合い方が分かる。	・ 話し合い活動で、友達の考えの中から、自分が正しいと思う考えを選ぶ。

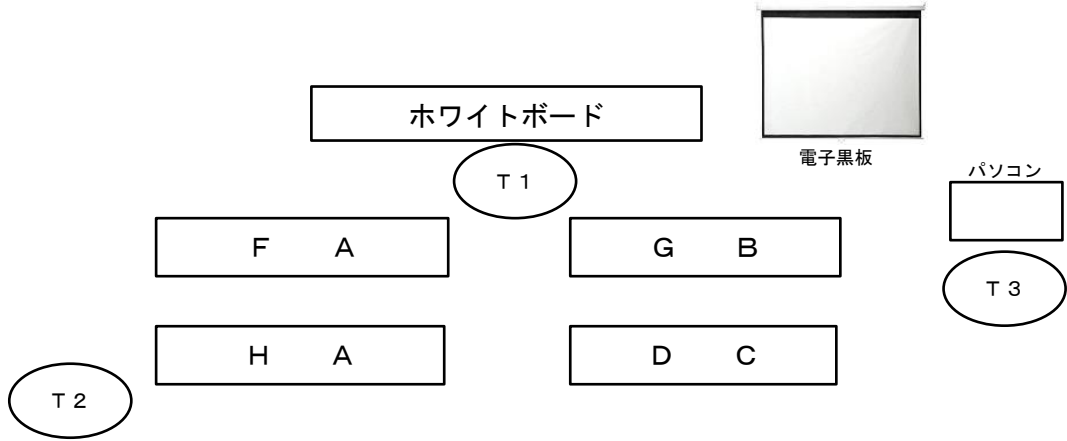
(3) 学習過程

時間	学習活動 めあて 振り返り	指導上の留意点等 ・教師の支援 ○予想される生徒の反応 評価規準
5分	1 始めのSTタイム 「1年生からどんな質問がありましたか。」	<ul style="list-style-type: none"> ・学んだことを思い出し、活用できるように、ファイルを見返す場面を設定する。 ○どんなことを話せばコミュニケーションがとれるかという質問が出ていました。 ○バスや電車が遅れたらどうしたらいいかという質問が出ていました。 ・ST授業で伝える相手が思い出せるように、1年生のメンバー表と質問をホワイトボードに提示する。 ・本時の学習に見通しをもって取り組むことができるように、今日のめあてとゴールを提示する。
5分	2 本時のめあてと学習内容 めあて 1年生にどんなエピソードを入れて伝えるか。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒同士の活発なやりとりを引き出すために、教師は必要以上に言葉を掛けずに見守る。
5分	3 ST授業の準備	<ul style="list-style-type: none"> ・自信をもって伝えられるように、聞き手に分かりやすいようにテロップや、写真を提示する活動を入れる。 ・Hは司会を担当し、短い言葉で分かりやすく伝えるように原稿を準備する。(T2) ・みんなと一緒に活動ができるように、Cはパソコンを操作する。(T3) ・トークタイムで出た話題や生徒が自分の経験を絡めて意見を伝えられていた内容を話題にできるように、教師がメモしておく。
10分	4 ST授業 (1) プレゼンターが3人発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○不安だったことについての話が聞けたので実習で頑張りたい。 ・振り返りで活用できるように、アンケートを教室に戻って記入し届けてもらえるように伝える。
15分	(2) トークタイム A (F、A、H) ⇒ (高1 2名) T2 B (TG、B、C) ⇒ (高1 2名) T3 C (D、A) ⇒ (高1 2名) T1	
5分	(3) 1年生から感想を発表してもらう。	
30分	※適宜10分程度休憩を入れる。 5 ST授業の振り返り (1) 感想を発表する。 (2) グループで話し合う。 (3) 話し合いの内容を発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○1年生に役立つ発表ができて良かった。 ・話し合いを整理するために、教師がグループに入り、出てきた言葉をキーワードにしてホワイトボードにまとめる。 ・H・Yは自分の意見を伝えられるように、ワークシートやパソコンを準備する。(T3) ・ST授業で3年生が具体的に伝えられていたか分かるように、1年生のアンケートを画面に映す。 ・本時のまとめをする中で、発表した内容に具体的な自分の経験が入っているか共有する。その後、次時への期待を高めるように、本時の学びと次時のつながりを伝える。
10分	6 まとめ まとめ ・人見知りをどうするか。 エピソード ・初日は話せなかった。 →まずは挨拶から。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感、達成感を高めることができるように、今日のめあてについて友達と褒め合う場面を設定する。 ・言語として自分のプリントに残せるように、教師が付箋にキーワードを書いて渡す。(T2) ・H、Cが頑張った人を選べるように、ワークシートに友達の名前リストを加える。
5分	7 終わりのSTワード	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の経験を踏まえて、質問に自分の言葉で伝えることができた。【発言、振り返り】 ・友達や後輩との話し合いで、新たな気づきや自分の考えを深めることができた。【発言】

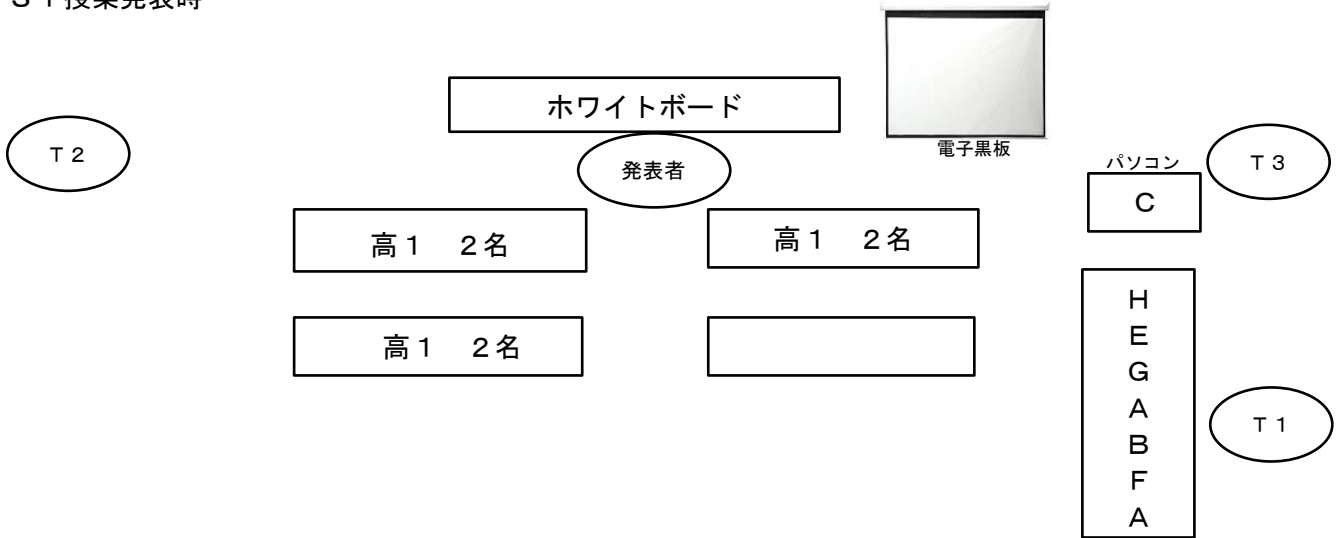
※太枠は、1年生と合同で行う活動。

(4) 配置図

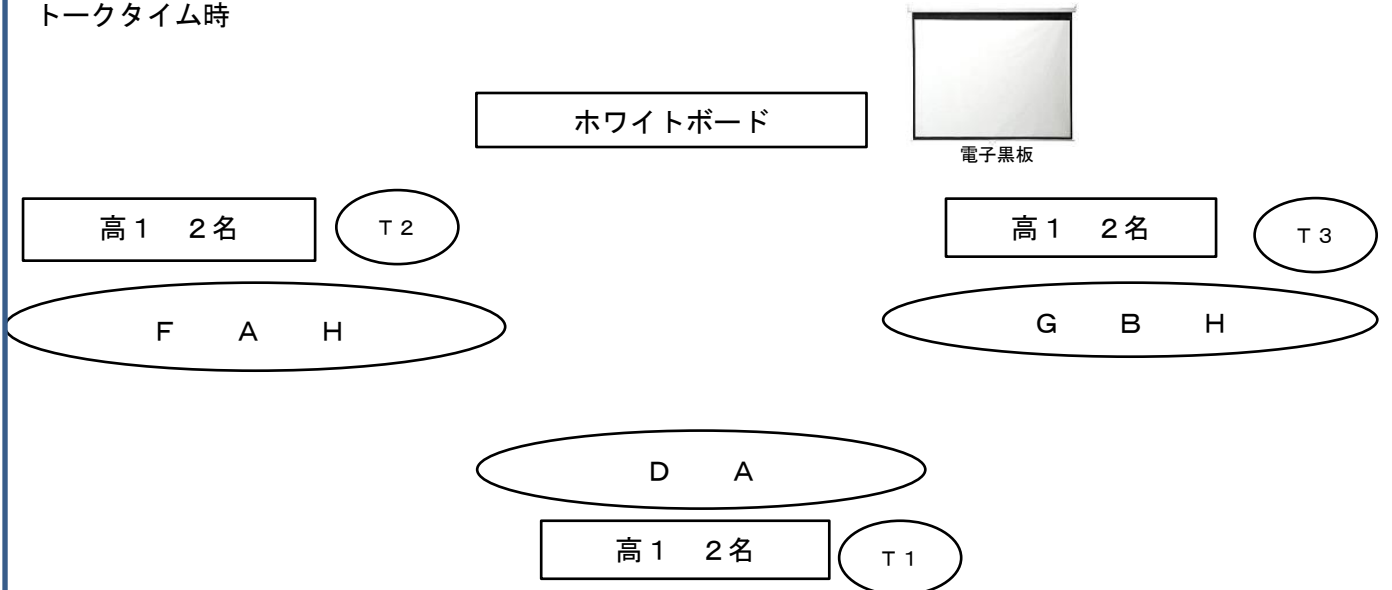
導入・振り返り時



S T 授業発表時



トークタイム時



(5) 板書計画

- ・本時のまとめをする中で、発表した内容に具体的な自分の経験が入っているか共有する。その後、次時への期待を高めるように、本時の学びと次時のつながりを伝える。

単元名 働く力を高めよう②～後輩に伝える3年生特別授業～

学習内容
 1 始めのSTタイム
 2 めあてとゴール
 3 ST授業
 4 ST授業振り返り
 5 まとめ
 6 終わりのSTワード

めあて
 1年生にどんな（エピソード）を入れて答えるか。

ゴール
 自分の経験を具体的に伝える。

1年生へのST授業

コミュニケーション 言葉遣い、態度 報・連・相



まとめ

ST授業を振り返って（具体的なエピソードは伝えられたか）

Aグループ（F、A、H）
人見知りをするか
エピソード
 ・実習初日は話せなかった。
 →まずは挨拶から。天気の話など。
体調が悪くなったとき
エピソード
 ・仕事でお腹が痛くなった。
 →職員さんに話して休ませてもらった。

Bグループ（G、B、C）
ポジティブになるには
エピソード
 ・実習初日不安で体調を崩し、休んでしまった。
 →楽しいことを考えて気持ちを切り替えた。
言葉遣いで気をつけること
エピソード
 ・職員さんに馴れ馴れしい言葉遣いを使ってしまった。
 →距離をとって「です・ます」で話す。

Cグループ（D、A）
休憩中の会話
エピソード
 ・自分からは話せなかった。
 →仕事のことを聞いてみる。
 →一人の時間を大切にしている人もいる。無理に話さなくても。
自分の意見を言えない
エピソード
 ・自信がなくて人の目を気にする。
 →失敗すること間違えるのは当たり前。そこから学ぶ。

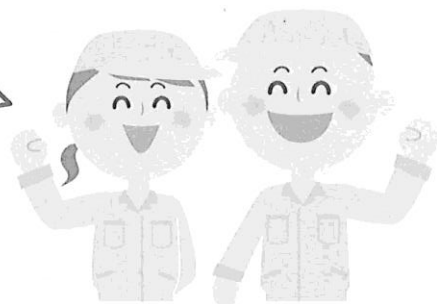
じゅぎょう
S T 授業

(さ)んねんせい (と)くべつ
3年生 特別



年 組 名前

実習で大切なことは
これ！！

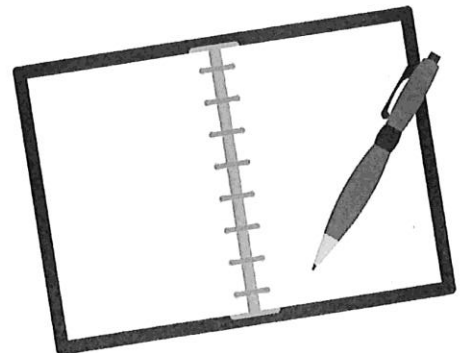


コミュニケーション

コミュニケーションをとらないと
悲しくて不安になります。

1年生への メッセージ

わからないときは担当者
さんへ聞いてくださ
い。自信をもって
頑張ってください!



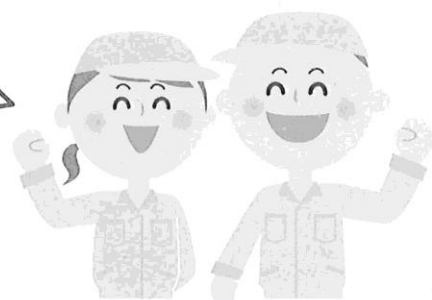
じゅぎょう
S T 授業

(き)んねんせい (と)くべつ
3年生 特別

②

年 組 名前

実習で大切なことは
これ！！



言葉遣い・態度



こんなとき どうする？

スタッフの方に友達口言周で話して
しまった。

→「ですます」を付けて敬語で話す
(普段段から気を付ける)

失礼してしまった

→すぐ相談

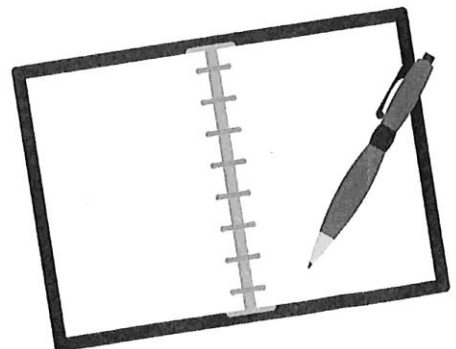
「お仕事で失礼します」と担当の方の
所に行って話す

1年生への メッセージ

初めての實習は不安でいっぱいになりますが、
休まずに實習に行ってください。

そのためには体調管理に気を付けてほしい
です。

現場實習頑張ってください。



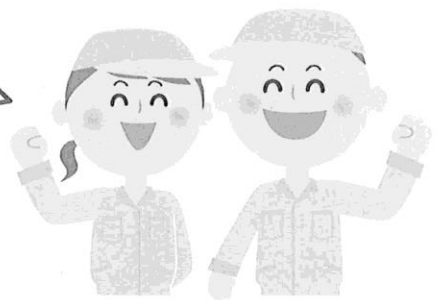
S T じゅぎょう
授業

(さ)んねんせい (と)くべつ
3年生 特別

③

年 組 名前

実習で大切なことは
これ！！



報告・連絡・相談

報・連・相をしないと...

- 分からないことが分からないままになりミスにつながる。
- 仕事に必要なものを聞かないと忘れ物をしてしまうことがある。
- 他の人に迷惑がかかってしまうことがある。



こんなとき どうする？

自分の苦手なことを伝えられ
なかった。

→

事前に耳戴員さんに相談して仕事を
調整してもらえた。

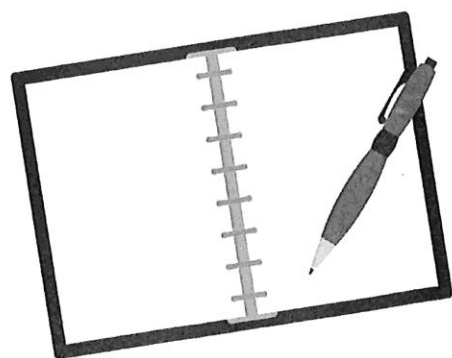
何回も同じ質問をしてしまった。

→

覚えたことをメモして活用したり作業
手順を確認したりする。

1年生への メッセージ

実習で元々張るためには普段の
学校生活で意識することが大切です。
一年生のみなさん、失敗を恐れず、
挑戦してきてください。



年間指導計画及び評価

		指導の形態	職業科・家庭科	
学習グループ 児童・生徒名 (人数)	高等部3年IIグループ (男子3名、女子5名 計8名) A、B、C、D、E、F、G、H	指導者名	塚本 竹美 東谷 いずみ 佐藤 聖哉 佐藤 由生 齋藤 行正	
年間目標	<p>【職業科】卒業後の具体的な生活について考え、自分の良さを生かしたり、支援を得たりする方法を学んで実践する。</p> <p>【家庭科】衣食住に関する実践的な活動を通して、自分の生活が豊かになるような家事スキルや余暇活動を広げる。</p>			
月	単元／題材名・学習内容 (予定時数：h)	単元／題材の目標	評価	
4 5	<p>【職業科・家庭科共通】</p> <p>オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来へのスケッチ 自己理解 他者理解 <p>(予定 5h / 実施 2h)</p>	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り自分の課題を考え、学びたいことをまとめる。 自分の得意なこと、苦手なことを理解して相手に伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> オリエンテーションでは2年生まで学んできたこと、これから学びたいことについて確認した。これから学びたいことでは、自分の気持ちを分かりやすく伝えるなどのコミュニケーション面を課題に挙げている生徒が多かった。また、簡単な材料や調理器具を使って調理などのスキルを学びたいという生徒も多かった。 働く上で大切なことなど、卒業生の先輩の話聞く機会を設定した。社会人として、仕事のやりがいや、目標をもって頑張っている話を聞いて、卒業後のイメージをもつことができた。特に、苦手なことに対してどのように対処しているかについては、興味深く聞いていた。 実習の事後学習では、実習で起こった事例について、どのように対処すればいいか小グループで話し合いながらまとめた。実際の場面を想定して、ロールプレイを取り入れたが、うまく対応できた人もいれば、自分のことだと捉えられない生徒がいた。ロールプレイは、楽しいだけで終わらないように、観点を絞って行いたい。対応の仕方を言葉にして伝える練習は有効だった。 話し合いでは核となる生徒が積極的に進行しているが、方向がそれてしまったり、間違った言葉を使ったりすることがあるので早めの修正が必要である。 主体的に授業に参加できない一部の生徒に活躍場面や役割、必要感があるような内容をさらに検討していきたい。 	
6 7 8 9	<p>【職業科】</p> <p>働く力を高めよう①</p> <p>○事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 日程や通勤方法等 目標の設定 <p>○事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事をする上でのルール、マナー、挨拶 電話の掛け方と応対 先輩からのアドバイス 決意式 振り返り、報告会 礼状 <p>(予定 26h / 実施 26h)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 挨拶はなぜ大切なのか考え、具体的な言葉を挙げてまとめる。 仕事をする上でのルールやマナーをまとめる。 基本的な言葉遣いや電話の応対を体験する。 		
	<p>【家庭科】</p> <p>暮らす力を高めよう①</p> <ul style="list-style-type: none"> 身だしなみ、健康管理(歯磨き) スケジュール管理 <p>(予定 5h / 実施 5h)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 働くために必要な身だしなみや健康管理について学ぶ。 		
	<p>【職業科】</p> <p>卒業後の生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関、相談窓口 <p>(予定 10h / 実施 10h)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 卒業後の支援機関について学び、必要となる支援や相談の仕方が分かる。 		
	<p>【家庭科】</p> <p>暮らす力を高めよう②</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みの目標 昼食づくり <p>(一人でできる調理)</p> <p>(予定 5h / 実施 5h)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 家庭で行っている調理について紹介する。 夏休み中に毎日継続する家事について家族と相談し、計画を立てる。 		
<p>予定時数 51h / 前期実施時数 48h</p>				

月	単元／題材名・学習内容 (予定時数：h)	単元／題材の目標	評価
10	【職業科】 働く力を高めよう②～後輩に伝える3年生特別授業～ ・2週間チャレンジ ・2年ⅡグループへのST授業	・職業で学んだことをまとめ、後輩に伝えたことを通して自分の課題との向き合い方が分かる。 ・友達や後輩と伝え合うことで、違った視点に気づき、自分の課題を考え直す。 ・ST授業を友達とやり遂げることによって、お互いの良さを認め合おうとする気持ちをもつ。	
11	・1年生へのST授業 (予定20h／実施h)		
12	【家庭科】 暮らす力を高めよう③ ・家庭生活で使用する器具や道具の使い方 ・簡単な調理 ・TPOに応じた服装	・ガスや電子レンジなど器具の使い方を理解し、インスタント食品や簡単に調理できる食品の活用方法を知る。 ・清潔な服装、季節、温度、場面に応じた服装を考えて選ぶ。 ・自分の生活にとって必要かどうか判断して、適切なお金の使い方を知る。	
1			
2	・金銭管理（買い物・ポイントカードの使い方・レシートの読み取り） (予定20h／実施h)		
3	【家庭科】 暮らす力を高めよう④ (調理、掃除、洗濯等) ・冬休みの目標 ・自分ができる仕事 ・振り返り (予定5h／実施h)	・〇〇〇について家族にインタビューして調べる。 ・冬休み中に毎日継続する家事について、家族と相談して計画を立てる。	
	【職業科・家庭科共通】 ・きずなカフェ（仮） (予定9h／実施h)	・今までの学習を生かして、来客時の応対や訪問時の礼儀正しい対応の仕方を実践する。	
	後期予定時数 54h／実施時数	職業h 家庭h	計h
	年間予定時数 105h／総実施時数	職業h 家庭h	計h

※上記の内容を組み合わせせて指導する。

< 記入者 塚本 竹美 >